

2012（平成 24）年度
＜第 8 期＞

事 業 報 告 書
収 支 計 算 書
財 産 目 録
貸 借 対 照 表

自 2012 年 4 月 1 日
至 2013 年 3 月 31 日



特定非営利活動（NPO）法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

2012 年度(第 8 期)事業報告書

1. 事業の実施

(1) 医療福祉支援事業

2012 年度は、フエ中央病院小児科での治療・ケアの向上に継続して取り組み、ベトナム中部での治療連携をはかるため、ダナンならびにクアンビン省へのアウトリーチプログラム、そして新たなチャレンジとして、小児がん家族の会の野外活動、地域保育園での検診・小児がん啓発プログラムも実施した。

- 2012 年 4 月 25 日(水)～5 月 1 日(火)：フエ・ダナン
ダナン小児科学会参加・ダナン母子病院・がんセンター建設現場視察、
フエ中央病院小児科での活動
- 2012 年 6 月 27 日(水)～7 月 6 日(金)：フエ
ベトナム中部小児がん家族の会野外活動、フエ中央病院小児科での活動
- 2012 年 9 月 12 日(水)～9 月 22 日(土)：フエ
保育園検診・小児がん啓発、フエ中央病院小児科での活動
- 2012 年 10 月 24 日(水)～26 日(金)：ハノイ
ハノイ国立小児病院視察・ベトナム小児科学会参加・発表
- 2012 年 11 月 13 日(火)～15 日(木)：クアンビン
クアンビン省アウトリーチ(省・区病院視察・現地指導)
- 2013 年 1 月 6 日(日)～13 日(日)：フエ
フエでの活動(新年のお祝い、ワークショップの準備他)
- 2013 年 3 月 10 日(日)：ホーチミン
ホーチミン小児がん患者支援財団訪問・交流
- 2013 年 3 月 17 日(日)～26 日(火)：フエ
第 2 回ベトナム中部小児がんワークショップ開催

フエ中央病院小児科との連携のもと、医療従事者への支援と小児がん患者・ご家族への支援という“医療”と“社会福祉”の両面での支援活動を展開した。渡辺代表が定期的に現地に出向き、プロジェクトの進捗状況の確認、課題解決のための協議・対応を重ね、年間を通して無料のインターネット通話サービス(SKYPE)を活用し、現地とのコミュニケーションをはかった。

1 医療支援

- 小児白血病治療実践・方針の指導ならびにフォローアップ
- 感染症予防の指導
- 治療環境整備のための物品寄付(病棟備品)
- 院内での食事提供・栄養管理
- 医療備品、医薬品(抗がん剤、抗生剤、輸血製剤)等の提供
- 医療従事者から患者・家族への院内教育プログラムの協力
- 関連部署・機関との会談・交渉

2 社会福祉支援

- 患者・家族への交通費・緊急治療費補助
- 治療中の患者・家族の家庭訪問ならびにお子さまを亡くされた家族の慰問
- ベトナム中部小児がん家族の会開催：ベトナム・フエ中央病院小児科の協力のもと、定期的に会合を開催。患者家族への教育(感染予防対策等)、情報提供、意見交換、課題解決を促進。
- 入院中の患者・家族・医学生ボランティアとのイベント(国際子どもの日：6 月 1 日、小児血液腫瘍看護師の日：9 月 8 日、インターナショナル・ドットデー：9 月 15 日、世界対がんデー：2 月 4 日、国際小児がんの日：2

月 15 日、ベトナム・テト正月：2 月 10 日等のお祝い)

- 3 小児白血病ハンドブック（ベトナム語版）発行
 - イラストレーターのムライタケシさんにご協力いただき、“フラッフィー・バブールと仲間たち”が描かれたベトナム語の小児白血病ハンドブックを作成した。子どもたち、親御さんたちに、病気や治療のことを理解していただき、一緒に病気を克服していきたいという思いから、イラストをたくさん入れ、わかりやすい説明に徹するということを心がけた。内容は、血液のことや、白血病の種類、検査の内容、治療の方法、感染予防、注意してもらいたいことなどでまとめた。
 - 2013 年 3 月にフエで開催した小児がんワークショップにて参加者の医療者に配布した。
 - フエ中央病院小児科で治療を受けている患児・家族へも配布をし、勉強会を開催した。
 - ハノイ国立小児病院の医師からも、自身の病院でも是非配布したいという要望があり、年間の新規患児さんの人数分（300 冊）を寄贈した。
- 4 医療相談・症例検討
 - 日本、アメリカ、シンガポールの医師によるセカンドオピニオン、コンサルテーション。
- 5 UICC*との協働プロジェクト：小児がん家族の会自立支援プログラム
 - * UICC (Union for International Cancer Control) = 国際対がん連合
 - ICCCPO (国際小児がん親の会連盟) との連携で実施することとなった本プログラムの目的は、フエ中央病院で治療を受ける患児・ご家族の生活の質を向上させるケアを提供すること、フエ中央病院小児科で発足したベトナム中部小児がん家族の会の自立を促すこと。
 - 第一歩として ICCCPO アジア大会 (インドネシア) に家族の会のリーダーと医師が参加し、他のアジアの団体の活動・交流を通して、見識を深めた。また、毎月開催するイベントを考え、入院中の患者家族の方々が積極的に楽しく参加できる機会を設けた。
 - 医師・看護師とともに治療や感染予防について学ぶ時間も定期的に設けている。そして、お子さんが旅立たれたときは、同じ病棟の親御さんたちがみんなで助け合い、ご自宅への慰問、お手伝いにも参加した。

ACCL のフエ中央病院小児科での支援活動が評価され、その功績を讃えられ、2013 年 3 月 22 日にフエ中央病院ブイ・ドック・フー病院長から表彰された。

(2) 自立支援事業

一般財団法人新倉会様からの支援により、「ベトナム中部小児がんワークショップ」の開催、そして 2012 年度は新規に地域保育園ならびにクアンビン省へのアウトリーチプログラムを実施した。

(A) 保育園検診・小児がん啓発プログラム

目的： 子どもたちの検診・スクリーニングを通して健康・衛生管理、感染予防ならびに小児がん早期発見・啓発をはかる

日時： ① 2012 年 9 月 21 日 (金) 午前：8～11:30qm / 午後 1:30～5:00pm
② 2012 年 9 月 26 日 (水) 午前：8～11:30qm / 午後 1:30～5:00pm

場所： ホアマイ保育園 (Hoa Mai Nursery School) 46 ドンダ通り、フエ市
ファム・ティ・クック (Pham Thi Cuc) 園長

園児： 2～3 歳未満 300 名、 3～5 歳 600 名 / 職員：100 名

参加者：医療チーム： 医師 4 名、看護師 8 名

ディン・クアン・トゥアン (Dinh Quang Tuan) 部長 ①②

チャウ・ヴァン・ハー (Chau Van Ha) 医師 ①②

ファム・フイ・トアン (Phan Huy Thuan) 医師 ①②

グエン・ダック・ルオン (Nguyen Dac Luong) 医師 ①②

ブイ・ティ・ミン・イェン (Bui Thi Minh Yen) 看護師 ①

チャン・ティ・イェン・リン (Tran Thi Yen Linh) 看護師 ①

ホー・ヴィエット・トゥン (Ho Viet Tuong) 看護師 ①

レー・ティ・アン・トオー (Le Thi Anh Tho) 看護師 ①

ゴー・ティ・キウ・ニー (Ngo Thi Kieu Nhi) 看護師 ②
グェエン・ティ・ユン・スアン (Nugyen Thi Duong Xuan) 看護師 ②
ホアン・ティ・アイ・チャム (Hoang Thi Ai Tram) 看護師 ②
チャン・ティ・タン・ガー (Tran Thi Thanh Nga) 看護師 ②
NPO 法人アジア・チャイルドケア・リーグ 渡辺和代 代表①

結果： 受診児童数合計 912 名 (1 歳～5 歳)

検診内容の確認シートは事前にフエ中央病院小児科の医師により作成され、病気の症状やフエ中央病院で再検査が必要な園児について記録。保育園の健康手帳にも記録。症状がある園児の場合は、後日フエ中央病院小児科外来で診察を受けるよう、健康手帳に明記。
検診後には、健康に問題のない園児にはミルクを、体調不良、低体重ならびに症状 (貧血, 扁桃炎, 肺炎, 下痢, 先天性心疾患など) がみられた園児に対しては、準備したビタミン剤を支給。必要な園児に対しては、検診後小児科外来でフォローアップを実施。
検診の内容は、テレビでも報道。

(B) ベトナム中部クアンビン省アウトリーチ

目的： 小児がん発症疑いを早期に発見し、診断・治療に結びつけるための地域医療連携体制を確立

日程： 2012 年 11 月 13 日 (火) ～15 日 (木)

場所： ベトナム中部 クアンビン (Quảng Bình) 省

省病院 (2012 年 3 月の小児がんワークショップ参加施設) ならびに区病院

- (1) クアンビン省病院： Vietnam-Cuba Dong Hoi friendship Hospital
(クアンビン省のドンホイ都市中心地から 2 km)
- (2) クアンビン省区病院： Bo Trach General Hospital
(クアンビン省のドンホイ都市中心地から 20 km)
- (3) クアンビン省区病院： Quang Trach General Hospital
(クアンビン省のドンホイ都市中心地から 40 km)

参加医療チーム： ベトナムフエ中央病院小児科より 3 名

ファム・ホアン・フン (Pham Hoang Hung) 部長
チャウ・ヴァン・ハー (Chau Van Ha) 医師
ファム・フイ・トアン (Phan Huy Thuan) 医師

多くのクアンビン省在住の小児白血病患児がフエ中央病院小児科で治療をしているため、本プログラムでは、まずクアンビン省にアウトリーチし、省病院ならびに区病院を視察し、現場での小児疾患・治療の現状を把握に努めた。そして小児がんの症状から早期発見ならびに診断・血液検査等につなげ、フエ中央病院小児科との連携体制を構築した。

(C) フエ中央病院での研修・ワークショップ・日越交流

タイトル： ベトナム中部小児がんワークショップ 2013 ～小児医療ケアの質の向上～

Central Zone of Vietnam Childhood Cancer Workshop 2013
Improving Quality of Pediatric Care

主催： フエ中央病院小児科 (HCHPD)

NPO 法人アジア・チャイルドケア・リーグ (ACCL)

共催： 開発途上国の新生児・小児ケアにおける質向上のアプローチ研究 (松下班)

日程： 2013 年 3 月 22 日 (金) 午後・23 日 (土) 午前

場所： ベトナムフエ中央病院内トレーニングセンター

目的： 小児がんについての知識習得により、ベトナム中部地域での小児がんの早期発見・診断・治療を図る。
日越人材交流ならびにベトナム中部、全土さらには隣国の医療施設との連携構築を図る。

対象者： フエ中央病院小児科ならびに小児がん診断・治療関係医療従事者、ベトナム中部地域省病院小児科担当の医療従事者、隣国 (ラオス・カンボジアの医師)

講師： <日本より>

国際医療研究センター小児科 松下竹次医師

国際医療研究センター小児科 佐藤典子医師
中通総合病院小児科 渡辺 新医師
日本大学医学部小児科 七野浩之医師
NPO 法人アジア・チャイルドケア・リーグ 渡辺和代代表
<スウェーデン>
スウェーデン大学血液腫瘍専門医 ジャセック・トポロスキ先生
<ベトナム>
フエ中央病院小児科血液腫瘍担当医
フエ中央病院血液腫瘍関連医師
ハノイ、ホーチミン、ベトナム中部省病院担当医

発表者：<ラオス>

国立子ども病院院長 Bounleua Oudabong 医師
国立子ども病院副院長 Sommanikhone Phangmanixay 医師
※青年海外協力隊ラオス駐在・服部道枝看護師
<カンボジア>

アンコール小児病院 Sreng Kea 医師

内容： 小児がんの症状、診断、小児がんの治療、維持療法、副作用、感染予防、
症例検討、小児がんプロジェクト、小児がん患者・家族への社会的支援

使用言語：ベトナム語・英語

参加者：日本（6名）、ラオス（2名）、カンボジア（1名）、スウェーデン
（1名）、ハノイ（3名）、ホーチミン（3名）フエ中央病院・フエ医科
大学（77名）、ベトナム中部14省病院（28名）：合計121名

(D) フエ医科大学医学生ボランティア団体による小児病棟での活動支援
<団体概要>

- 団体名：「Blouse Xanh（英語名：Blue Blouse）」
- スーパーバイザー：Mr. Anh Hien Ho（アン・ヒエン・ホー）
- 2008年9月11日にフエ医科大学の医学生らによって発足
- 現在100名以上のボランティアが登録
- 2011年4月からフエ中央病院小児科での活動（“Blue Dream”）をスタート
- 小児科病棟での活動内容：
 - 毎週末病棟にてダンス、歌、クイズ、お絵かき、絵本・DVD鑑賞、お誕生会等
 - 年次行事：国際子どもフェスティバル（6月1日）、ベトナムの子どもの日（8月15日）、クリスマス、テト旧正月等

(E) フエ中央病院での小児がん治療に対する医療環境の整備
フエ中央病院小児科 2F 小児がん病棟にて：
感染予防対策、療養生活の改善のための備品購入

(3) 啓発活動・情報提供事業

小児がんへの正しい知識、支援の依頼ならびにアジア発展途上国における治療の現状や課題の情報提供。

- ① ウェブサイト (<http://www.accl.jp>)
ホームページを通しての啓発・情報発信。
- ② ニュースレター『Harmony（ハーモニー）』の発行
会員ならびに支援者に向け、年2回発行。（第15号-2012年6月、特別号-2012年11月）
- ③ 「国際小児がんの日」（2月15日）
ICCCPO（国際小児がん親の会連盟）と SIOP（国際小児がん学会）が、小児がんの早期発見・診断ならびに啓発活動の一環として、世界共通のポストカードを配布する企画を展開。ICCCPOの会員でもあるACCLも、趣旨に賛同し、日本語・ベトナム語・英語版のポストカードを作成し、日本、ベトナムにて配布。
- ④ ACCL 広報
キャラクター「バブール」（イラストレーター：ムライタケシ様ご協力）、小児がんのシンボル「ゴールドリボン」とともに、小児がんの啓発ならびにACCLの活動について広報を展開。

(4) コーディネート・コンサルテーション事業

(A) 国内事業

- ① 小児がんネットワーク MN (みんななかま) プロジェクト
小児がん経験者のグループである小児がんネットワーク MN (みんななかま) プロジェクトの運営、企画、イベント等への助言・指導を提供。
- ② 小児がん関連の団体ならびに国際協力やボランティア・NPO 等
問い合わせや相談等に随時対応。

(B) 海外事業：UICC(国際対がん連合)との協働プロジェクト小児腫瘍看護師研修

- 新規に UICC の支援のもと、ACCL がコーディネーターとなり、フェ中央病院小児科の看護師研修プログラムを実施した。
- コラボレーション・パートナー：UICC (国際対がん連合)、ACCL、NUH (シンガポール国立大学病院)、KKH (シンガポール KK ウイメンズ・アンド・チルドレンズ・ホスピタル)、SJCRH (アメリカ・セントジュード小児研究病院)
- 2012 年の夏から協議を重ね、小児腫瘍専門研修プログラムの実施計画をたてた。そしてフェ中央病院小児科看護師へのヒアリング・インタビューを経て、2 名を選出。研修の第一弾として、2013 年 3 月 4 日～28 日の 1 ヶ月、シンガポールの病院 (KKH と NUH で各 2 週間) での研修を実施した。
- 受講者：ブイ・ティ・ミン・イェン (Bui Thi Minh Yen) 看護師
ホアン・ティ・アイ・チャム (Hoang Thi Ai Tram) 看護師
- 研修プログラムの初日 2 日は、チャウ・ヴァン・ハー (Chau Van Ha) 医師と ACCL 渡辺代表が同行した。

(5) 交流・イベント事業

① イベントの開催・参加・協力

● 参加・発表

内 容：第 102 回国際母子カンファランス
開催日程：2012 年 4 月 11 日 (水)
場 所：国立国際医療研究センター 5 階大会議室 (東京都新宿区)
発 表：「ベトナム中部での小児がん事業の取り組み」

● 協力

内 容：がん患者ご家族のためのライブ
開催日程：2012 年 6 月 24 日 (日)・12 月 8 日 (土)
会 場：カフェ・ド・スール (東京都多摩市唐木田)
出 演：橋本昌彦氏 (シンガーソングライター)

● 参加・発表

内 容：葉山町外国文化紹介講座
開催日程：2012 年 8 月 1 日 (水)
場 所：葉山町福祉文化会館大会議室 (神奈川県葉山町)
主 催：葉山町・葉山町国際交流協会
発 表：「ベトナム中部での小児がん事業の取り組み」

● 講義

内 容：明治学院大学・心理学部・教育発達学科・子ども文化
開催日程：2012 年 10 月 2 日 (火)
場 所：明治学院大学 (神奈川県横浜市戸塚区)
講 義：「子どもの置かれている世界：アジア・ベトナム編」

● 共催

内 容：全国小児がん経験者大会 in 横浜
開催日程：2012 年 12 月 1 日 (土)
場 所：神奈川産業振興センター (神奈川県横浜市桜木町)
主 催：小児がんネットワーク MN (みんななかま) ネットワーク

● 協力

内 容：日本小児血液がん学会公開シンポジウム
小児がん経験者による企画
「私たちのおもいと力 ～共に生きるみらいへ～」

開催日程：2012年12月2日（日）

場 所：横浜パシフィコ・会議センター（神奈川県横浜市西区）

● 共催

内 容：小児がんゴールドリボンキャンペーン・JAPAN・2013
「～生きるを楽しむ～ in 新潟」

開催日程：2013年3月9日（土）

会 場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター（新潟県新潟市中央区）

主 催：小児がんネットワーク MN（みんななかま）ネットワーク

② 海外とのネットワーク

● 国際小児がん親の会連合（ICCCPO）ならびに国際対がん連合（UICC）

E-mail などによる事務局・会員との連絡、情報交換を進めた。

● 国際小児がん親の会連合（ICCCPO）アジア大会への参加・発表

開催日程：2012年4月21日（土）～24日（火）

会 場：インドネシア・ジョグジャカルタ

参 加 者：約 200 名（インドネシア、フィリピン、香港、日本、韓国、ベトナム、
モロッコ、マレーシア、イラン、バングラディッシュ、ネパール）

*フエ中央病院小児科トゥアン医師、ハー医師、小鬼がん患児の父親
ならびに家族の会会長タン氏、ACCL 渡辺代表

発 表：ベトナム中部での小児がんアウトリーチプログラム（ACCL 渡辺代表）

● ST.JUDE-VIVA Forum in Pediatric Oncology 2013 in シンガポール

<プレフォーラムワークショップ・フォーラム>への参加・ポスター発表

小児がん治療の専門知識の習得を目的に、ベトナム・フエ中央病院小児科医師
（チャウ・ヴァン・ハー医師）を招聘。

➤ 2013年3月6日（水）～9日（土）

・ プレフォーラムワークショップ：「Planning and Designing a Leukemia
Trail in Emerging Countries」（シンガポール国立大学）

・ メインフォーラム：「Hematological Malignancies in Children」
（シャングリラホテル）

(6) 調査・研究事業

ラオス・ビエンチャンの病院視察ならびに医療従事者交流：

日程：2012年9月9日（日）～12日（水）

目的：ラオス人民民主共和国/首都ビエンチャン及び隣県地域の病院を視察して、
現地病院医療の実態及び小児血液腫瘍の治療、医療施設・設備・薬剤の現
状の把握ならびに医療従事者との交流。症例・課題についての話し合いの
場ももち、小児がん患児家族との面会、その他関連の活動についても情報
を共有。

参加者：国際医療研究センター小児科の松下医長、加藤医師、
大原薬品工業株式会社の黒田氏、桑原氏、大森氏、
ベトナムフエ中央病院小児科トゥアン医師、ア医師、ハ医師、ハ栄養科医師、
現在ラオスに駐在の青年海外協力隊の服部看護師、
現地通訳（ラオス語・英語）のヴィレイ氏、
ACCL の渡辺代表

視察病院：

- ① マホソット病院（Mahosot Hospital）：ラオス最大の国立病院。1910
年設立、450 床、一日外来数約 250～300 人。
- ② 子ども病院（Children's Hospital）：韓国の支援で 2011 年に新設さ
れた病院。70 床。
- ③ マリアテレサ病院（Maria Terresa Hospital）：隣県の県立病院、ル

クセンブルグが支援。90 床。

- ④ ミタパブ病院 (Mittaphab Hospital) : 友好病院 (別名, Friendship hospital)。透析と外傷のセンター病院. SARS 患者の専門病棟あり、150 床。一日外来数約 100~150 人。
- ⑤ セタティラート病院 (Settathirath Hospital) : ビエンチャン中心部近く、2001 年に日本の ODA で建設された病院。220 床。医師 100 名、一日外来約 300 人。

現地の病院視察、医療従事者との交流を通してラオスでの現状・特徴が理解できた。小児がん患児ご家族との面談も実現した。今回、日本・ベトナム・ラオスと 3 国間での交流ができ、今後も連携をとり、国境を越えて小児がんの子どもたちの救済・ケアを提供していくように努める。早速 2013 年 3 月にフエで開催した小児がんのワークショップには、2 名のラオスの医師を招聘した。

(7) その他の事業

① ネパール小児血液腫瘍専門医支援 :

- 1. インドネシア・ジョグジャカルタ開催・国際小児がん学会 (SIOP) アジア大会参加支援
 - 2012 年 4 月 21 日 (土) ~24 日 (火)
- 2. ロンドン開催・国際小児がん学会 (SIOP) 参加支援
 - 2012 年 10 月 5 日 (金) ~8 日 (月)

2011 年に視察をしたネパールのコイララ記念病院の小児血液腫瘍クリシュナ・サガー (Krishna Sagar) 医師の国際小児がん学会 (SIOP) 参加を支援した。サガー医師は小児がん患児・家族の支援のための NPO を現地で設立し、積極的に小児がんの治療ならびに支援活動に取り組んでいる。

② ラオス・カンボジア医師 : ベトナム・フエ開催・ベトナム中部小児がんワークショップ参加支援

- 2013 年 3 月 22 日 (金)・23 日 (土)

2012 年 (ラオス)、2009 年 (カンボジア) に視察をした病院の医師 3 名 (ラオス 2 名、カンボジア 1 名) のベトナム中部小児がんワークショップ参加を支援した。

2. 運営事項

(1) 総会

開催日時：2012年6月17日 午後3時
場 所：ブロードシティ東京 B1 会議室（東京都中央区）
議 題：2011年度事業報告・決算報告
2012年事業計画案・予算案について
役員について
※併せて、報告会「自立に向けてのアジア小児がんプロジェクト」

(2) 理事会

● 第1回

開催日時：2012年5月30日 午後7時00分
場 所：本法人事務所
議 題：2011年度決算報告ならびに会計監査
2012年事業計画案についての協議

● 第2回

開催日時：2011年11月8日 午前11時00分
場 所：本法人事務所
議 題：既存事業の経過
2012年上半期事業、収支経過の承認ならびに
2012年度下半期事業の確認

(3) 役員

現役員の任期は、2010年7月1日から2012年6月30日まで
理 事 長 渡辺 和代
副理事長 秋田 成就
理 事 井上 修一
監 事 山岸 秀雄
2012年7月1日からも前期に引き続き上記の役員が2年間重任。

(4) 資金源

会費ならびに寄付により事業を運営。
A) 2012年度会費総額： ¥285,000
B) 2012年寄付総額： ¥11,362,950

2012(平成24)年度 <第8期> 収支計算書

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
パートナー会員		
個人会員会費収入	90,000	
法人会員会費収入	0	
サポーター会員		
個人会員会費収入	195,000	
法人会員会費収入	0	285,000
2 事業収入		
(1) 医療福祉支援事業	0	
(2) 自立支援事業	0	
(3) 啓発活動・情報提供事業	0	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	0	
(5) 交流・イベント事業	0	
(6) 調査・研究事業	0	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	0	0
3 寄付金収入		
寄付		11,362,950
4 補助金・助成金収入		
補助金	0	
助成金	0	0
5 雑収入		
預金利子		978
当期収入合計		11,648,928
経常収入合計		11,648,928
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 医療福祉支援事業	5,621,320	
(2) 自立支援事業	1,600,000	
(3) 啓発活動・情報提供事業	272,575	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	884,066	
(5) 交流・イベント事業	494,923	
(6) 調査・研究事業	225,979	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	283,432	9,382,295
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
光熱費	56,055	
通信費	121,983	
印刷費	17,700	
広告宣伝費	0	
機器備品費	0	
消耗品費	16,052	
旅費交通費	10,400	
会議費	100	
雑費	2,280	224,570
3 予備費		0
経常支出合計		9,606,865
経常収支差額		2,042,063
当期収支差額		2,042,063
前期繰越収支差額		7,684,083
次期繰越収支差額		9,726,146
(正味財産増減の部)		
III 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額		2,042,063
2 負債減少額		0
増加額合計		2,042,063
IV 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額		2,042,063
2 負債増加額		0
減少額合計		2,042,063
当期正味財産減少額		2,042,063
前期繰越正味財産額		7,684,083
当期正味財産合計		9,726,146

2012(平成24)年度 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金 現金手元許有高	958,985		
郵便振替貯金:00120-0-724050	0		
郵便振替貯金:00150-1-377857	0		
普通預金 三井住友銀行・築地支店	805,777		
普通預金 みずほ銀行・築地支店	2,025,070		
普通預金 三菱東京UFJ銀行・築地支店	3,447,638		
外貨普通預金 三井住友銀行・築地支店	2,488,676		
流動資産合計	9,726,146		
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
什器備品	0		
電話加入権	0		
敷金	0		
積立金	0		
固定資産合計	0		
資 産 合 計		9,726,146	
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計	0		
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計	0		
負 債 合 計		0	
正 味 財 産			9,726,146

2012(平成22)年度 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

科 目		金 額 (単位:円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手元許有高	958,985		
	郵便振替貯金:00120-0-724050	0		
	郵便振替貯金:00150-1-377857	0		
普通預金	三井住友銀行・築地支店	805,777		
普通預金	みずほ銀行・築地支店	2,025,070		
普通預金	東京三菱UFJ銀行・築地支店	3,447,638		
外貨普通預金	三井住友銀行・築地支店	2,488,676		
	流動資産合計		9,726,146	
2 固定資産				
	土地	0		
	建物	0		
	什器備品	0		
	電話加入権	0		
	敷金	0		
	積立金	0		
	固定資産合計		0	
	資産合計			9,726,146
II 負債の部				
1 流動負債				
	預り金	0		
	短期借入金	0		
	流動負債合計		0	
2 固定負債				
	長期借入金	0		
	固定負債合計		0	
	負債合計			0
III 正味財産の部				
	前期繰越正味財産	7,684,083		
	当期正味財産増減額	2,042,063		
	正味財産合計			9,726,146
	負債及び正味財産合計			9,726,146